



# 議会体制

## 令和4年度に所属する常任委員会を報告します!

常任委員会の所属

今年度に所属する委員会が決まりました。役割をしっかりと果たせるよう頑張ります!

委員会とは: 市政が範囲が広く内容も複雑なため、いくつかの委員会を設けて本会議の予備的な審査をしたり、重要な事柄について調査をしたりしています。常任委員会は議会に常に置かれている委員会です。常任委員会は全ての議員がいずれかに所属します。

### 常任委員会

#### 産業建設委員会

- 【主な所管事項】
- 工業、商業及び労働行政について
- 農業、林業及び水産業について
- 観光について
- 交通対策、区画整理及び市街地再開発について
- 道路及び河川について



#### 予算決算委員会

(議長を除く全議員が所属します)

副委員長を拝命しました。健全で、効率の良い行財政を目指します!



- 【主な所管事項】
- 予算、決算等市財政について

# 鈴木 たかひで



Vol.28

## 活動報告 (3月~6月における活動の一部を写真で紹介!)



地域政策フォーラムで豊田市の取り組みを報告させて頂きました!



日頃お世話になっている企業様で市政報告の機会を頂きました!



「豊田市松平体育館」が完成し、館内を視察させて頂きました!



「とよたビジネスフェア」を見学 市内企業の技術力を実感しました!



「猿投おいでん夏祭り」に参加。アツイ夏がはじまりました!



小学校のビオトープ整備のボランティアに参加しました!



平素より格別のご支援を頂きお礼を申し上げます。新型コロナウイルス感染症の拡大も予断を許さない状況ですが、中止されていた行事が再開されるなど賑わいが戻りつつあることを嬉しく思います。今後も十分な対策を図りながら、更なる魅力向上に向けた取り組みを加速させたいと考えています。

さて、6月議会では昨今の物価高騰への対応に関する議案審査や一般質問に登壇するなど、精力的に取り組まれました。日頃の活動をお支え頂く皆様に感謝し、ご報告させていただきます。梅雨も明け、本格的な夏が訪れました。皆様におかれましては暑さに十分注意され、益々のご健勝をご祈念いたします。

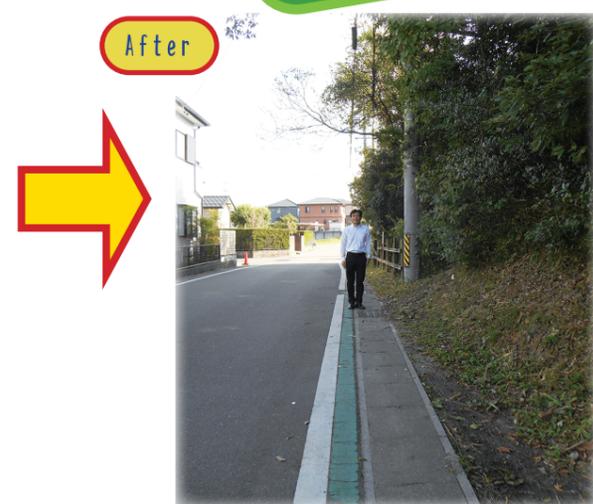
### 暮らしの相談

樹木の伐採

ご相談内容には迅速に対応を行い、対応できない場合でも、丁寧に説明することを心掛けています。是非ご相談ください。

お気軽にご相談ください!

生い茂る樹木が市道へはみ出し、電線にかかり危険とのご依頼を受け対応しました。現地確認を行ったところ、倒木の危険もあり早急な調整をとりました。安全確保が出来てよかったです。



◆鈴木たかひでへ皆様のご意見・ご要望・困りごとをお寄せください。

事務所: 豊田鉄工労働組合内

住所: 豊田市細谷町4丁目50番地 Tel/Fax:0565-28-8437

自宅: 豊田市西広瀬町登り256番地 Tel:090-3453-5316

facebook

鈴木たかひで



# 6月定例議会への取り組み（発言した質問・意見・一般質問など）

## 議案審査

旭高原元気村整備事業

近年のアウトドア需要の高まりや、既存施設の老朽化対策としてバンガローエリアの再整備を実施します。

### 発言した意見

旭高原元気村は豊かな自然の中で家族や仲間と楽しめる施設として年間約10万人以上もの来場者に親しまれている。また、令和4年度には世界ラリー選手権開催会場の一部となることが予定されている。整備を通じて施設の魅力向上や、地域経済の発展につながるものとして賛成。



\*イメージ図

## 議案審査

放課後児童施設の更新

施設の老朽化や参加児童数の増加に伴って、小学校の放課後児童施設を更新します。

### 発言した意見

既存の放課後児童施設の大きさでは、参加児童の増加に対応が困難であることを現地で確認した。今回の整備によって良好な児童育成環境の確保につながるものとして賛成。また施設整備にあたり、従来手法に比べて整備期間と費用が抑えられる「建物提案型買取方式」を採用した点も評価する。



【対象者学校】

- ・青木小学校（定員：180名）
- ・井上小学校（定員：80名）
- ・梅坪小学校（定員：180名）

## 予算審議

令和4年度補正予算

物価高騰に関する支援を目的とした施策を紹介します！

### 1. 給食費の据え置き



	これまでの食材費		物価高騰 対応
	保護者	公費負担	
小学校	250円	+15円	食材費の 2.5%を 公費負担
中学校	280円	+15円	
こども園	210円	+10円	

子育て世帯への支援として、給食費の食材料費上昇分を公費負担します。

### 2. カーボンニュートラル創エネ促進補助金の拡充



- ①対象者： 中小企業（製造業）
- ②対象経費： 設備費・工事費  
調査費・設計費
- ③補助金額： ・補助率 経費の1/2  
・上限額 3000万円

エネルギーコスト増に苦しむ中小企業のエネルギー受給率を早期に工場するために、予算額を増額します。（5億円→8億円）

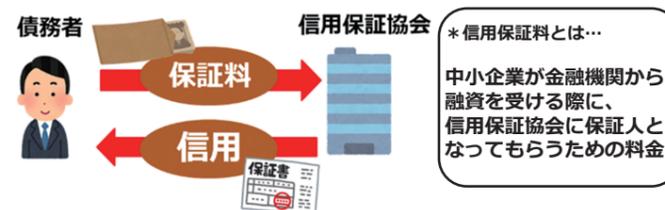
### 3. 生活困窮者 仕事と住まいの一体支援



- ①申請期間： 令和4年7月1日～令和5年3月31日
- ②対象経費： ・雇用した生活困窮者の1ヶ月分の給料  
・住居を確保するために要した経費
- ③補助金額： 対象経費の10%（上限30万円）

物価高騰により、就労・住居が不安定な状態の生活困窮者を雇用し、住居を提供する事業者費用の一部を補助します。

### 4. 信用保証料緊急経済対策補助金の延長



新型コロナウイルス感染症の経済対策として実施している「信用保証料緊急経済対策補助金」の期間を延長します。（令和5年3月31日まで）

## 一般質問

内容の一部紹介

### 「持続可能な産業振興への取組」

をタイトルに一般質問に登壇しました！

豊田市の強みである活発な企業活動は多くの雇用と経済を支え、市もその豊富な資源を活かして充実した市民サービスを提供するなど、企業と行政が密接に関わりながら双方で発展してきました。一方、企業の多くは人手不足などの困難を抱えながら厳しい競争環境を乗り越えようとしています。「100年に一度の変革期」の今こそ、行政の果たすべき役割も大きいと考えます。そこで、自動車関連産業の抱える諸課題への対応。また、企業誘致などをはじめとする産業の発展に向けた市の取り組みについて想いを込めて質問しました。

Q. 質問

カーボンニュートラルへの対応として、既存の創エネ設備に対する補助に加え、省エネ設備への補助が必要と考える。市の考えは

A. 答弁

省エネへの取り組みも不可欠と考えている。有効な省エネの具体的事例を集めながらより効果的な支援方法について整理していく。また、国においても省エネに寄与する生産設備の導入への補助の動きもあり、これらの動向を注視していく。



Q. 質問

市内企業の競争力強化として「CASE」に係る自動車産業への取り組みは

A. 答弁

インフラ整備としては公共施設の充電機器の増設や、山村地域への急速充電機の設置に取り組み、2030年まで36ヶ所・60口を目指し整備する。また自動運転の実証フィールドの提供として、自動車の走行位置をより正確に把握できるPTK-GPS基準局を設置した。



Q. 質問

次世代航空モビリティの産業化に向けた今後の支援内容は

A. 答弁

市内企業を部品供給者などとして産業化する取組の視点では開発報告、及び提案会を開催し支援していく。また活用機会の創出として、医療機関と連携した医療用物資輸送の運搬実証や災害訓練での活用をしていく。また社会が「空飛ぶクルマ」を受け入れる環境づくりとしてVR体験会や学生向けセミナーを開催する。



\*次世代航空モビリティとは：「空飛ぶクルマ」や「物流ドローン」などで、2040年に市場規模160兆円まで拡大すると想定。豊田市のスタートアップである（株）SKY DRIVEを軸に、市内事業者をサプライチェーンとして巻き込み産業化を目指しています。

Q. 質問

旺盛な企業立地のニーズに対し、工業用地が不足している。今後の対応は

A. 答弁

交通利便性などの企業ニーズを踏まえ、公共による面整備の推進とあわせ、伴走型による民間開発支援の双方での産業用地の充実を図る。当面は豊田東IC周辺地区産業用地整備事業を進めるとともに既存の企業立地マッチング事業などを活用し、産業用地の創出を促進していく。



質問の一覧

#### 1. 「持続可能な産業振興への取組」

##### (1) 自動車関連産業の抱える諸課題への対応

- ①人材不足の状況
- ②域外からの人材確保
- ③多様な人材の掘り起こし
- ④人材の受け皿となる中小企業への支援
- ⑤カーボンニュートラルにおける産業部門の状況
- ⑥カーボンニュートラルに対する補助対象の拡大
- ⑦事業承継の課題を抱えた企業の状況
- ⑧事業承継への取組

##### (2) 産業の持続的発展に向けた「自動車+α」の取組

- ①事業所の開業率
- ②CASEが及ぼす市内産業への影響と対応
- ③CASEに対応する自動車産業への取組
- ④販路開拓支援としての製品登録システムの充実に対する考え
- ⑤行政および関連団体による購入支援の考え
- ⑥次世代航空モビリティの産業化が市内経済へ及ぼす影響
- ⑦豊田市次世代航空モビリティ協業ネットワークの状況
- ⑧産業化に向けた今後の支援内容
- ⑨企業進出意向調査の動向
- ⑩企業立地に係る伴走型支援
- ⑪南部地域の産業用地の整備状況と供給面積
- ⑫不足分に対する今後の考え

一般質問の動画がご視聴できます。QRコードを読みとって下さい。

